

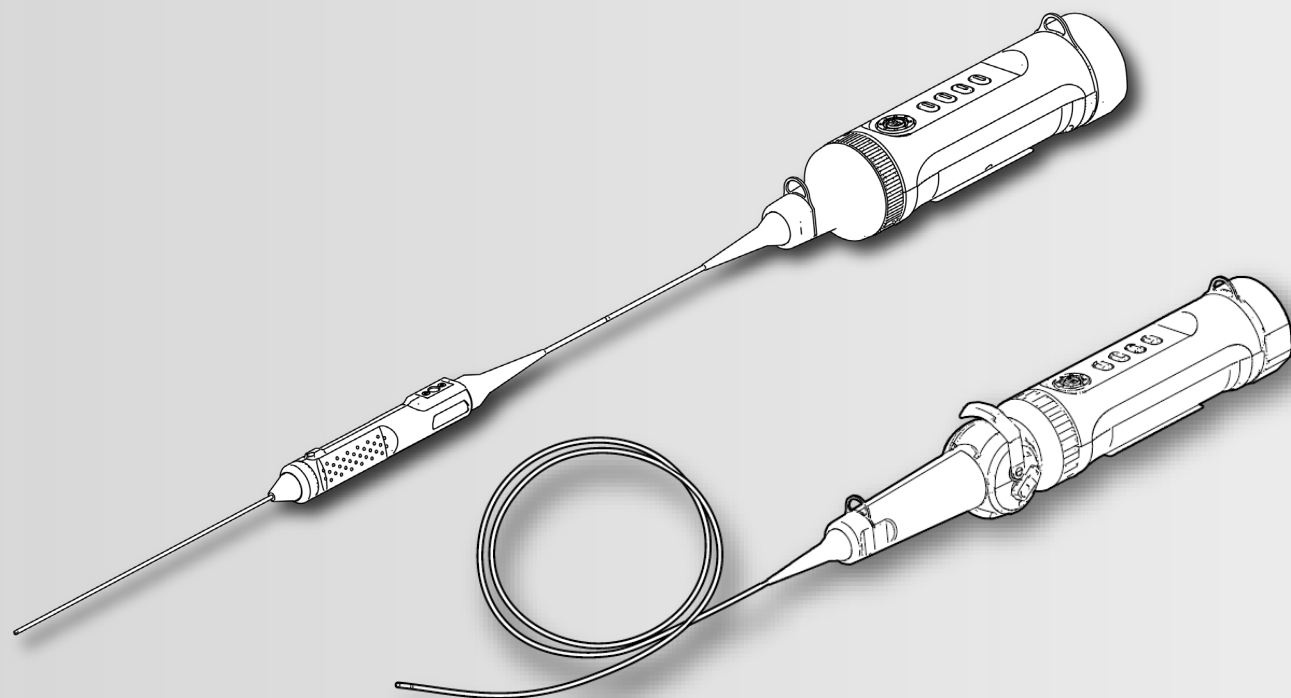
***iPLEX* TX II**

簡易取扱説明書

[P.2-8] 基本的な使い方

[P.9-13] 収納・オプション品

[P.14-17] 使用上の注意・仕様

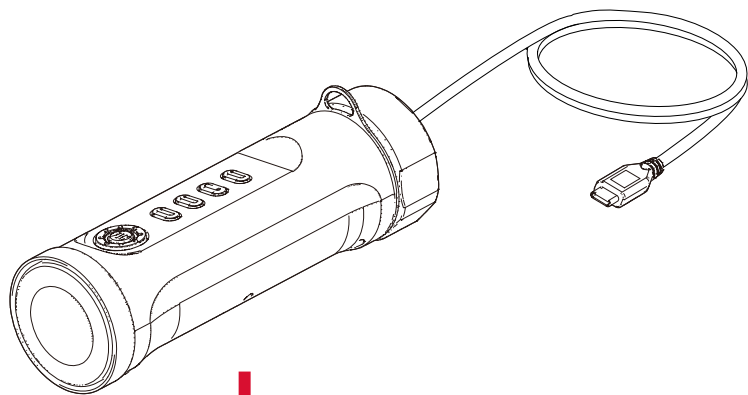


※付属の「取扱説明書」を必ずご一読の上、本製品のご使用をお願いします。

MM4887 01

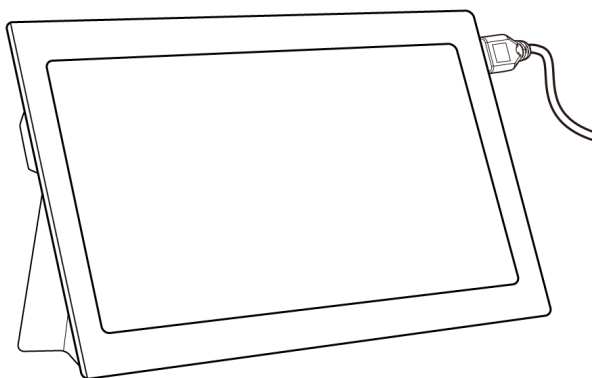
製品構成

コントロールユニット

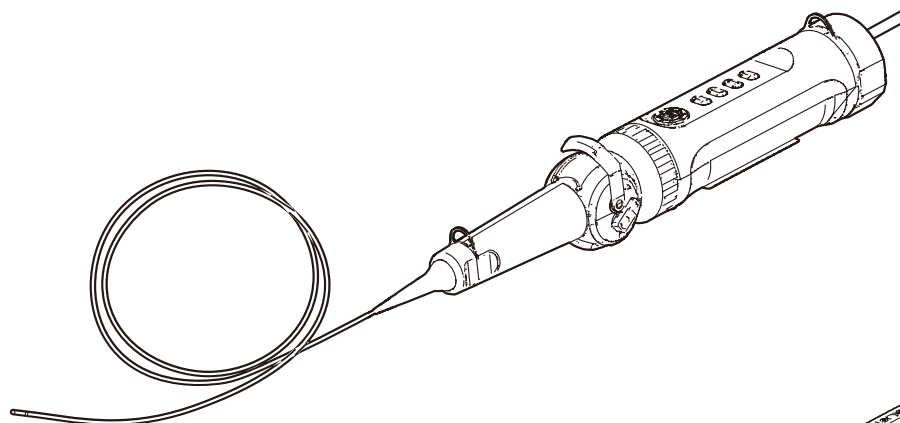


USBケーブルで接続

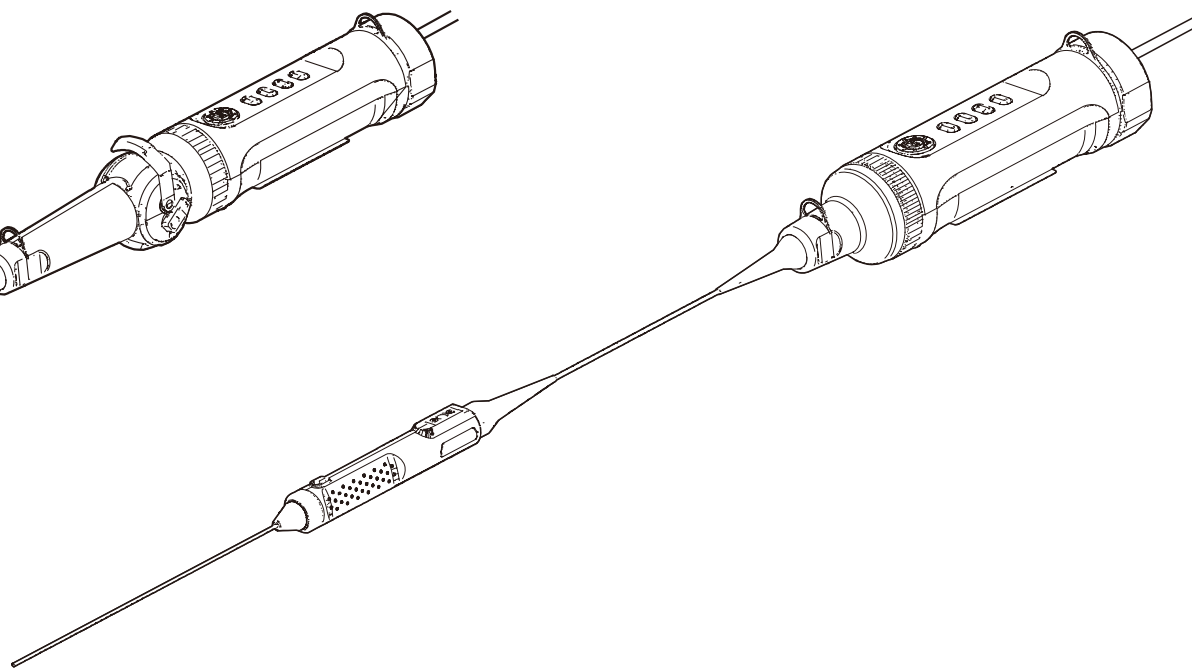
タブレット



フレキシブルスコープユニット

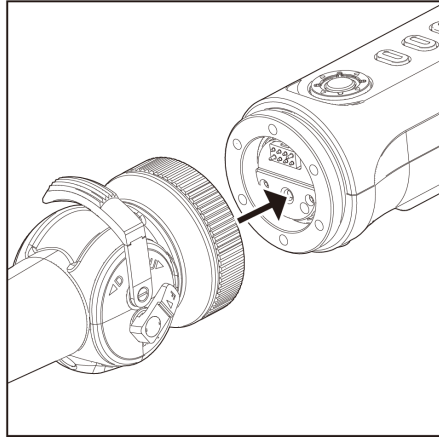
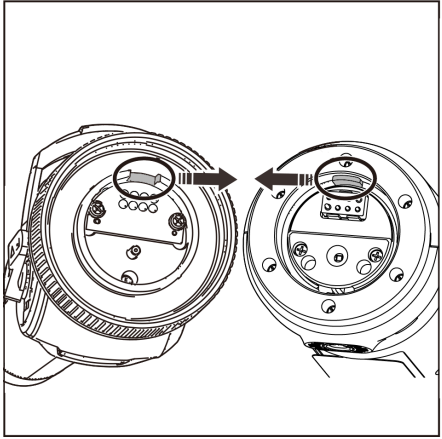


リジッドスコープユニット

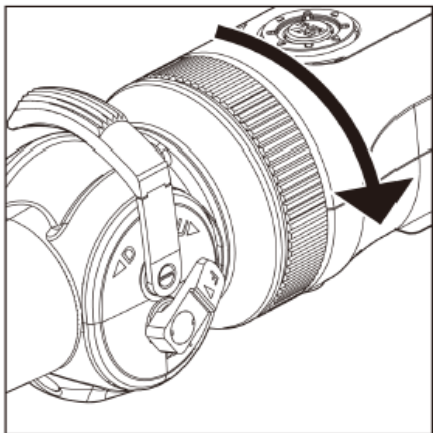


※ スコープユニットの接続方法は3ページをご確認ください。

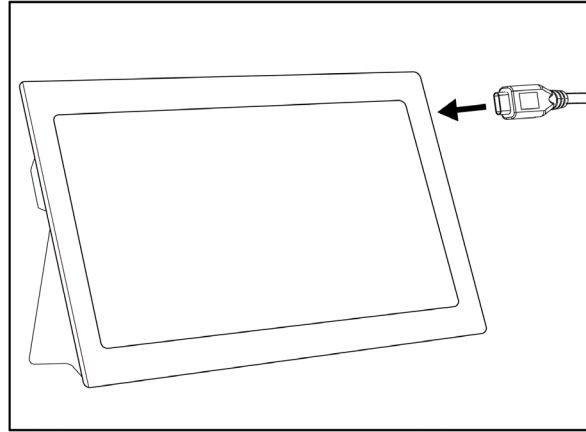
1. スコープユニットとコントロールユニットの位置を合わせ、固定リングをあて付ける。



2. 固定リングを締め付けて固定する。



3. コントロールユニットのケーブルをタブレットに接続する。



1. 下記のダウンロードサイトから、TX IIソフトウェアのZIPファイルをダウンロードし、解凍する。

<https://www.olympus-ims.com/service-and-support/downloads/>



2. アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動する。



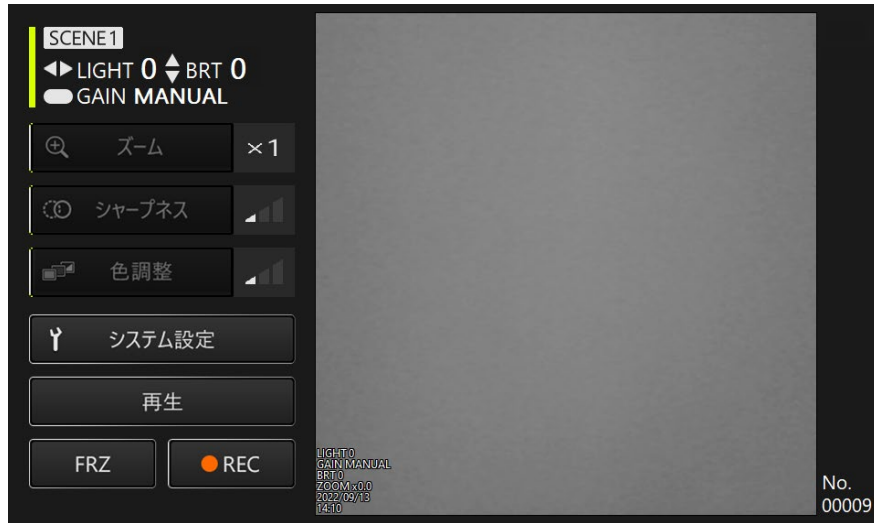
3. アプリケーションをアクティベーションする。
キーコードを入力してソフトウェアをアクティベートする。（はじめてコントロールユニットと接続するときのみ）



キーコードを入力後<実行>をクリック

観察方法

1. ライブ画像を見ながら、検査対象物へ挿入部を挿入し、該当箇所を観察する。

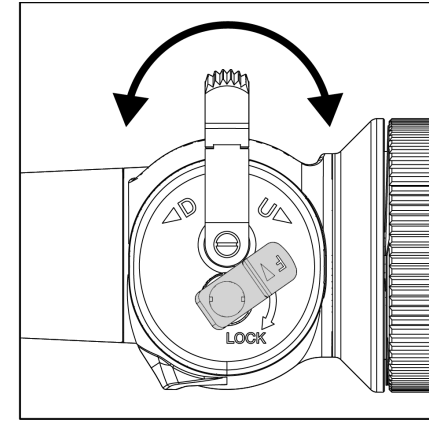
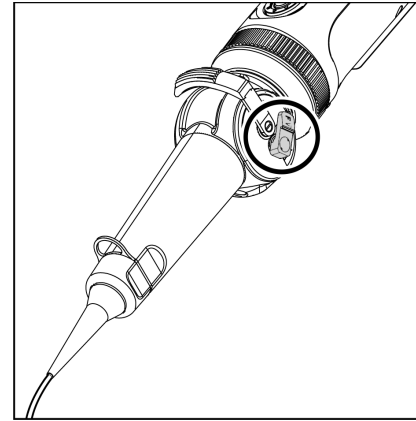


2. 観察を終了する場合は、ライブ画像を見ながら、検査対象物からゆっくりと挿入部を引き抜く。

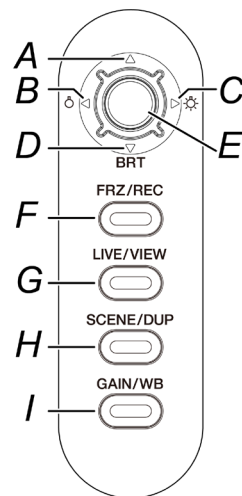
フレキシブルスコープユニット（アングルレバー）の操作方法

湾曲操作を行い、該当箇所を観察する

1. アングルロックレバーのアングルロック状態を解除し、アングルレバーを操作して湾曲操作を行う。

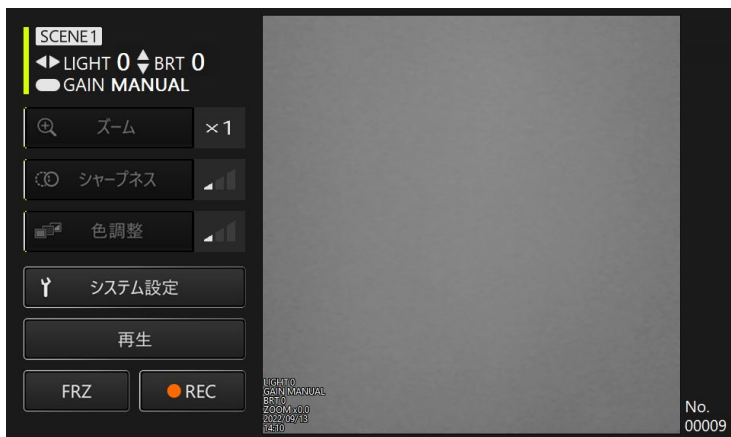


コントロールユニット、ボタン



アプリケーション画面

※ が表示されます。



“リモコンモード”では、コントロールユニットのボタンを使用して操作することができます。

	ボタン		機能
A	十字キー[U]	短押し	輝度を一段階上げます。
B	十字キー[L]	短押し	光量を一段階暗くします。
C	十字キー[R]	短押し	光量を一段階明るくします。
D	十字キー[D]	短押し	輝度を一段階下げます。
E	[ENT/MODE] ボタン	長押し	"リモコンモード"と"GUIモード"を切り替えます。
F	[FRZ/REC] ボタン	短押し	観察画像のフリーズを切り替えます。
		長押し	フリーズ画面の画像を保存します。 ライブ画面では動画の録画確認ダイアログがでます。
G	[LIVE/VIEW] ボタン	短押し	ライブ映像を表示します。
		長押し	ライブ映像とビュー画面を切り替えます。
H	[SCENE/DUP] ボタン	短押し	<SCENE1>と<SCENE2>を切り替えます。
		長押し	選択しているシーン設定を選択していないシーン設定にコピーします。
I	[GAIN/WB] ボタン	短押し	ゲインモードを<AUTO>と<MANUAL>で切り替えます。フリーズ時は無効。
		長押し	ホワイトバランスを実行します。 フリーズ時は無効。

アプリケーション画面

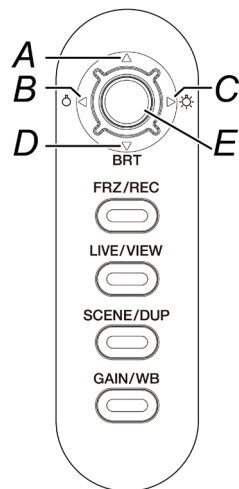
※ 選択されている項目が黄色で強調表示されます。



“GUIモード”では、タブレットのタッチパネルまたはマウスで操作することができます。
(一部の操作では、コントロールユニットのボタンも使用します。)

メニューボタン	機能
<ズーム> ズーム	ズーム倍率を変更する。 1倍(x1)、2倍(x2)の二段階で変更します。
<シャープネス> シャープネス	画像のクッキリ感を調整する。 左→右の順に強くなります(3段階)。
<色調整> 色調整	観察画像の色を調整して表示する。 <ul style="list-style-type: none"> 白黒:白黒で表示します。 標準:標準的な観察画像になります。 濃い:全体的に濃い目に表示します。
<システム設定> システム設定	システム設定画面を表示する。
<画面表示> 画面表示	画面上への情報表示を選択することができます。
<フォルダーの変更> フォルダーの変更	画像・動画の保存先を選択する。
<バージョン> バージョン	バージョンを表示する。 アプリケーションバージョンを表示します。
<再生> 再生	画像や動画を表示する。 保存した画像や動画を表示します。
<FRZ> FRZ	ライブ画面とフリーズ画面を切り替える。
<REC> REC	ライブ画面時は観察画像の録画を開始します。 フリーズ画面時は静止画を保存します。

コントロールユニット、ボタン



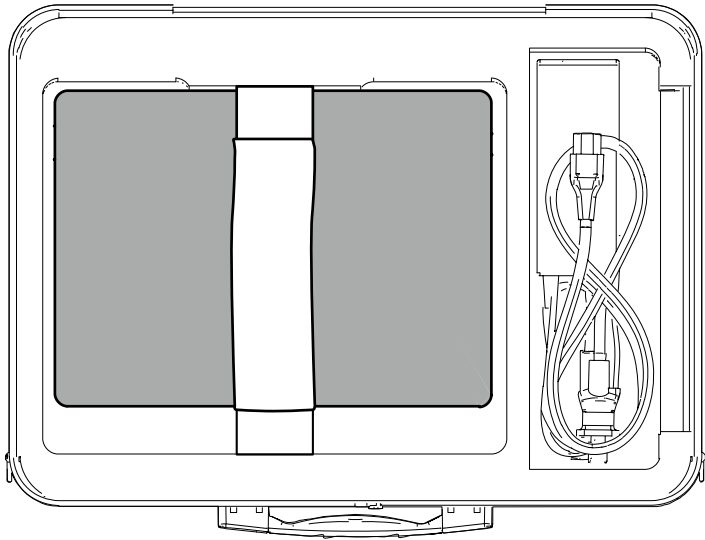
“GUIモード”では、下記のボタンのみ動作します。

	ボタン		機能
A	十字キー[U]	短押し	上カーソル移動
B	十字キー[L]	短押し	左カーソル移動
C	十字キー[R]	短押し	右カーソル移動
D	十字キー[D]	短押し	下カーソル移動
E	[ENT/MODE] ボタン	短押し	決定
		長押し	“リモコンモード”と“GUIモード”を切り替えます。

タブレットをキャリングケースへ収納する

タブレットの下から出ているベルトを引っ張ってから、フック面をループ面に貼り付けてしっかりと固定する。

※ ACアダプター等の周辺機器は、右のスペースに収納してください。

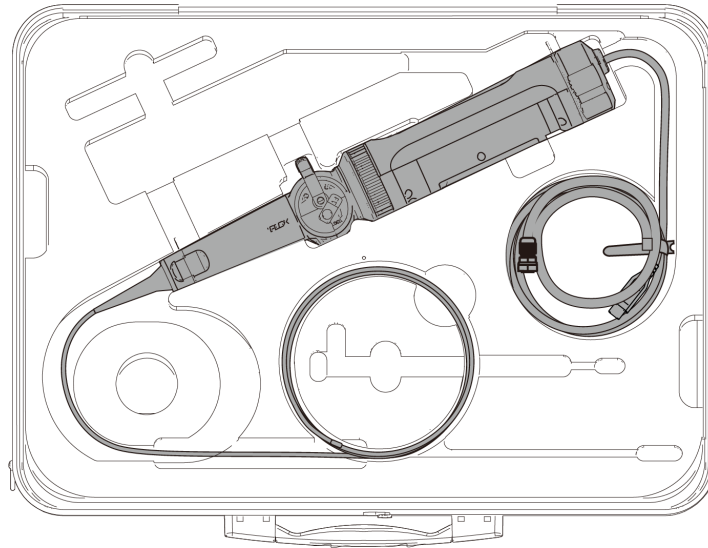


フレキシブルスコープユニットを収納する

ロゴが正面を向いた状態で収納する。

※ 挿入部は、先端部がケースに収まるように収納してください。

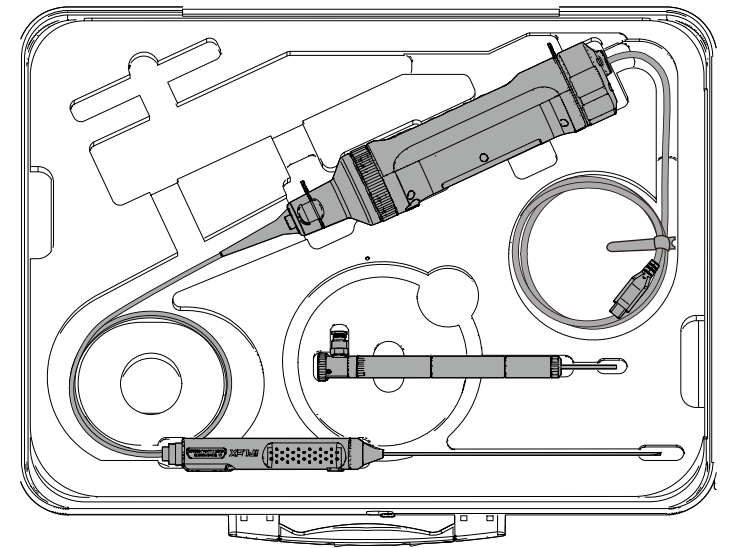
※ プロテクションブレードは、右のスペースに収納してください。



リジッドスコープユニットを収納する

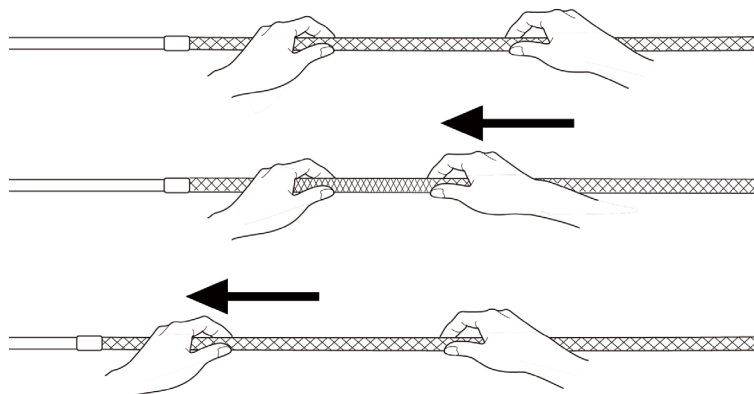
ケーブル部は、二周巻きつけて収納する。

※ プロテクションスリーブとグリップエクステンダーは、リジッドスコープユニットから取り外して収納してください。

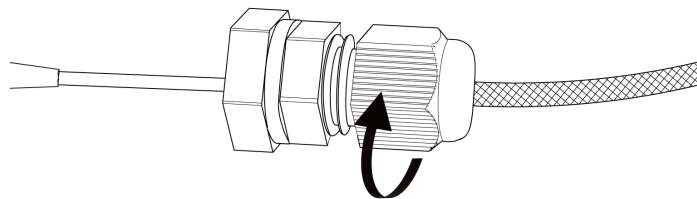


プロテクションブレードをフレキシブルスコープに取り付ける

1. スコープ挿入部を伸ばした状態で、プロテクションブレードを繰り返し伸縮させながら、挿入部に被せる。

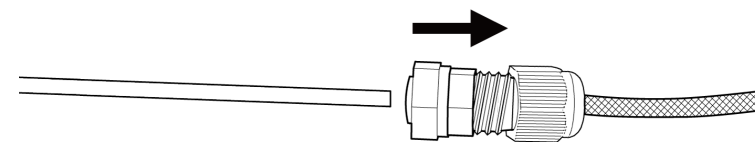


2. プロテクションブレード全長を挿入部に被せた後、ブレードストッパーを挿入部に挿入し、ブレードストッパーの締め付けねじをしっかりと締め付ける。



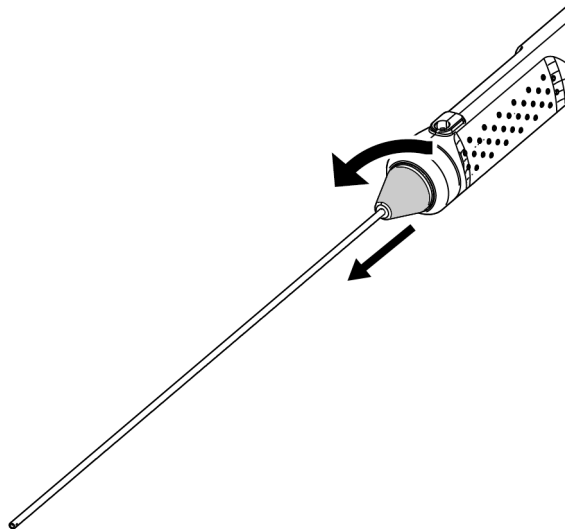
プロテクションブレードをフレキシブルスコープから取り外す

1. ブレードストッパーの締め付けねじを緩めて、プロテクションブレードをスコープからゆっくり引き抜く。

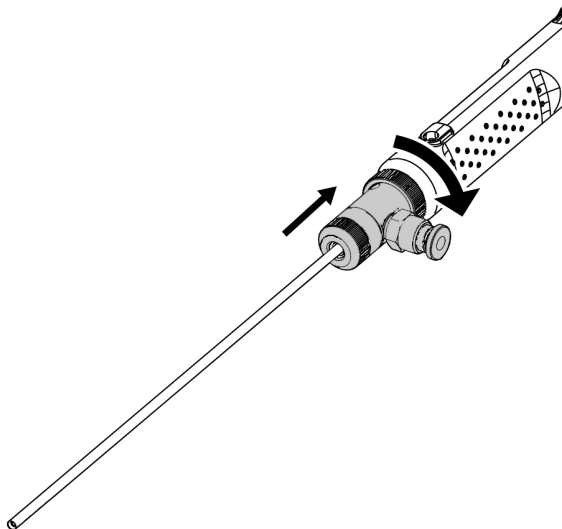


プロテクションスリーブをリジッドスコープに取り付ける

1.リジッドスコープユニットから折れ止めを反時計回りに回転させ取り外す。

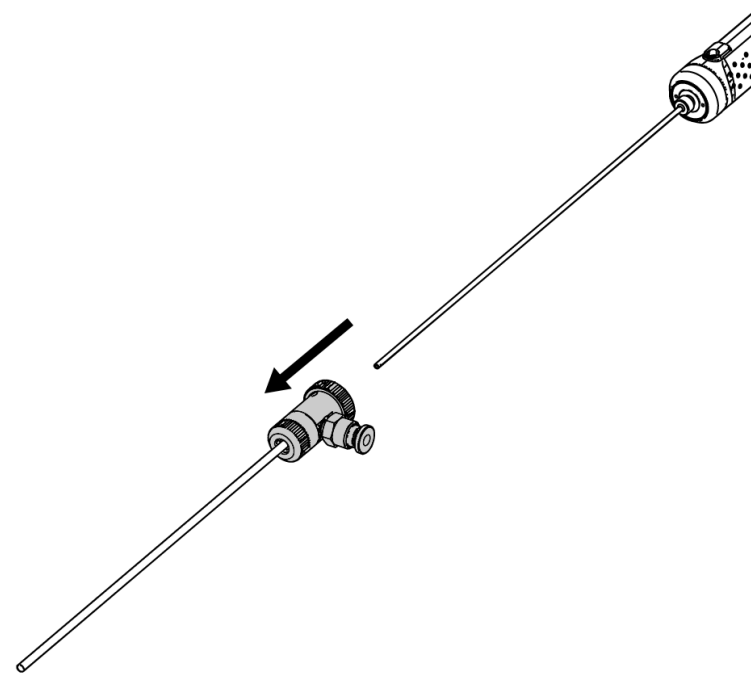


2.プロテクションスリーブをリジッドスコープユニットに取り付け、固定リングを時計回りに回転させて固定する。



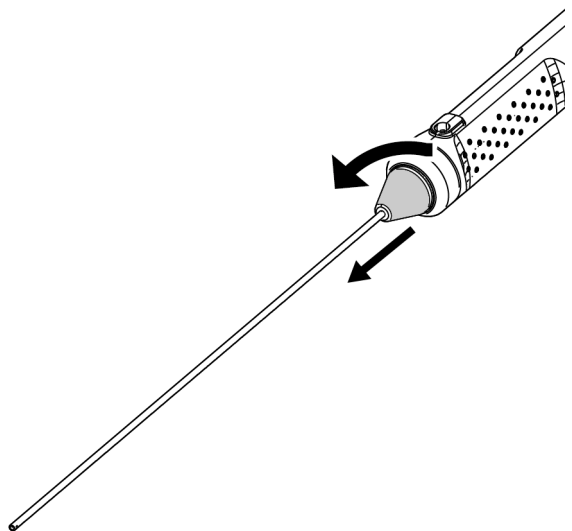
プロテクションスリーブをリジッドスコープから取り外す

1.固定リングを半時計回りに回転させて取り外す。折れ止めを取り付け、時計回りに回転させて固定する。

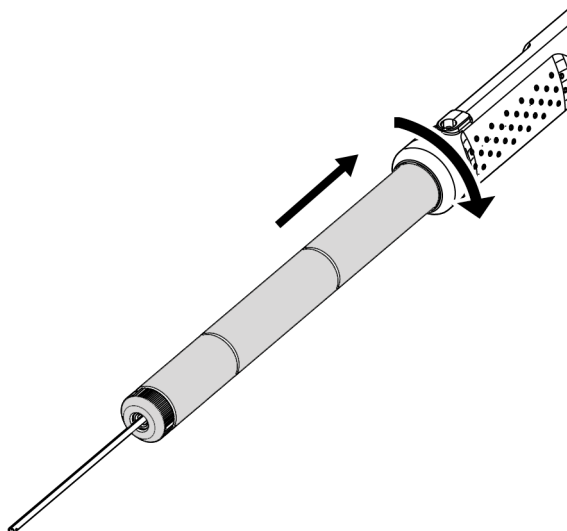


グリップエクステンダーをリジッドスコープに取り付ける

1. リジッドスコープユニットから折れ止めを反時計回りに回転させ取り外す。

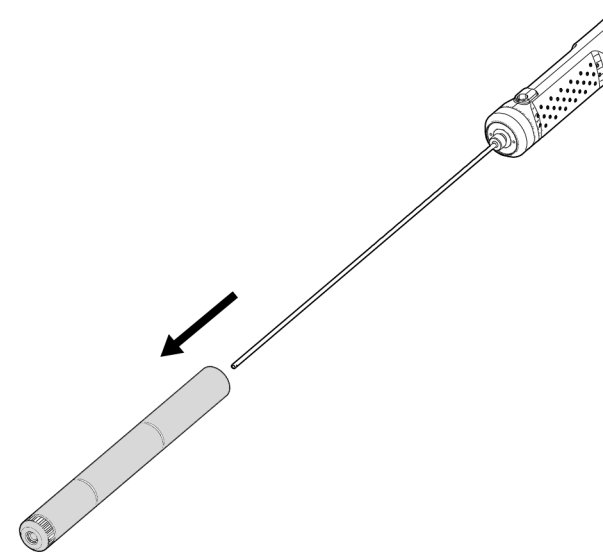


2. グリップエクステンダーをリジッドスコープユニットに取り付け、時計回りに回転させて固定する。

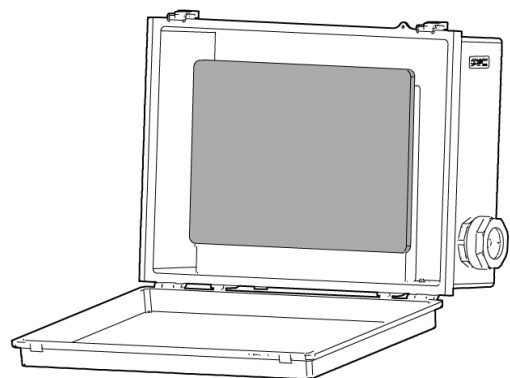


グリップエクステンダーをリジッドスコープから取り外す

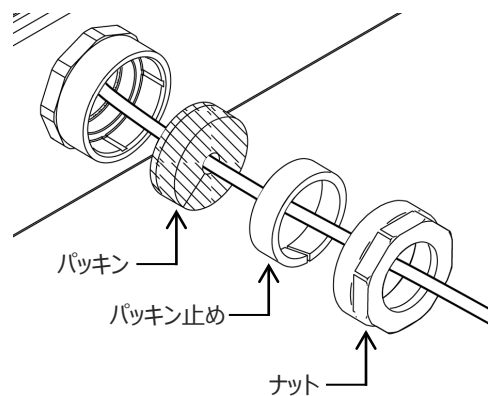
1. グリップエクステンダーを半時計回りに回転させて取り外す。折れ止めを取り付け、時計回りに回転させて固定する。



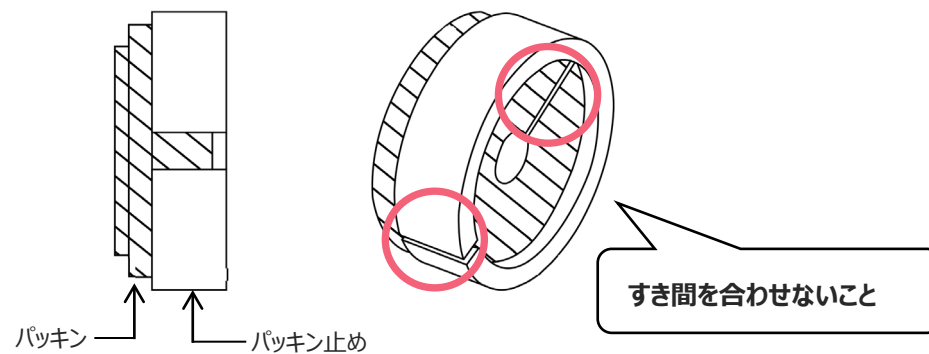
1. プロテクションボックスのふたを開けて、タブレットスタンドにタブレットを置く。



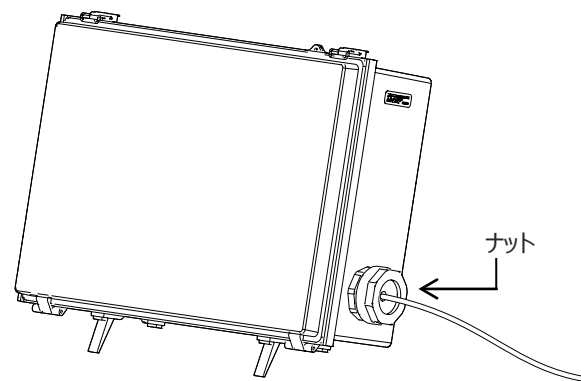
2. コントロールユニットのUSBケーブルをナット、パッキン止め、パッキンの順に通す。



3. パッキンとパッキン止めを組み合わせる。



4. 側面のナットを取り付ける。



※「取扱説明書」に安全に関するお願いを記載しています。必ずご一読の上、本製品のご使用をお願いします。

使用上のご注意

使用時

- ・挿入部の無理な押し込みは故障の原因となりますので、避けてください
- ・検査対象物から挿入部を引き抜く際は、湾曲部を湾曲させた状態で引き抜かないでください
- ・挿入部先端はレンズのため、できるだけ強い衝撃を避けるよう、ご注意ください
- ・挿入部以外の部分は防塵防滴構造ではないため、水に浸からないようご注意ください

使用後

- ・製品に付着した水、油、汚れ等を拭きとってから収納してください

収納時

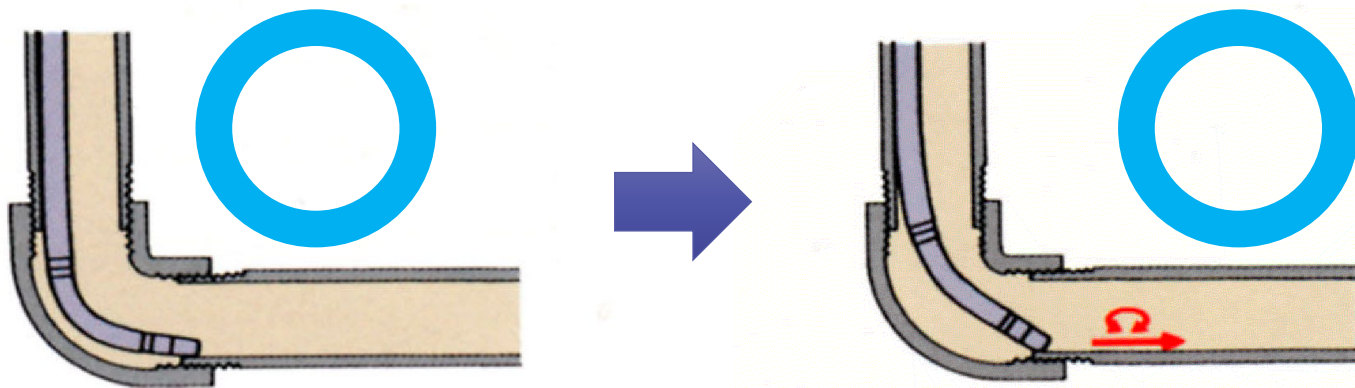
- ・キャリングケースを閉める際に、挿入部等を挟まないようご注意ください

項目	仕様	
コントロールユニット : IV10200T		
質量	350g (ケーブル含む)	
操作部	機能	ライブ画像表示するための映像信号出力、ゲインコントロール、明るさ調整、画像のズーム、観察画像のフリーズ/記録操作、湾曲操作、メニュー表示操作、静止画像表示/サムネイル画像表示操作
	外形寸法	172 (L) × 52 (Φ) mm (突起部、ケーブル、コネクタは含まない)
電源	接続するタブレットからのUSB給電	
USB端子	USB2.0 接続、C端子	
フレキシブルスコープユニット : IV10212TF		
質量	255g	
挿入部	外径	Φ2.2 mm
	有効長	1.2m
	先端硬質部長	7.85mm
	外装	金属ブレード+特殊強化樹脂加工
	軟性部蛇管	挿入部先端から操作部まで一定の硬さの蛇管
光学系	視野方向	直視 (前方視)
	視野角	120°
	観察深度	3~80mm
	照明方式	根元LED (Control Unit) (ライトガイドで先端に光を伝搬)
湾曲部	湾曲角度	120度 (UD2方向)
	湾曲操作	アングルレバーによる湾曲操作
リジッドスコープユニット : IV10212TR		
質量	180g	
硬性部	外径	Φ1.8 mm
	有効長	180 mm
光学系	視野方向	直視 (前方視)
	視野角	120°
	観察深度	3~80 mm
	照明方式	根元LED (Control Unit) (ライトガイドで先端に光を伝搬)

項目	仕様	
プロテクションボックス : MAJ-2536		
外形寸法	400 (W) × 300 (H) × 150 (D) mm (突起部を含まず)	
質量	2.2kg	
機能	防塵・防滴 (IP52相当)	
プロテクションブレード : MAJ-2537		
質量	5.6g	
外径	2.8 (Φ)	
有効長	約1 m	
対応スコープ	IV10212TF	
機能	挿入部保護	
プロテクションスリーブ : MAJ-2538		
質量	32g	
外径	2.3 (Φ)	
有効長	162 mm	
対応スコープ	IV10212TR	
機能	挿入部保護 液滴除去	
グリップエクステンダー : MAJ-2540		
外形寸法	30mmグリップ 30mm x Φ14 48mmグリップ (2コ) x Φ14	
質量	53g	
対応スコープ	IV10212TR	
機能	有効長調整	
キャリングケース		
外形寸法	455(W) x 185(H) x 330(D) mm (突起含まず)	
質量	2.1g	

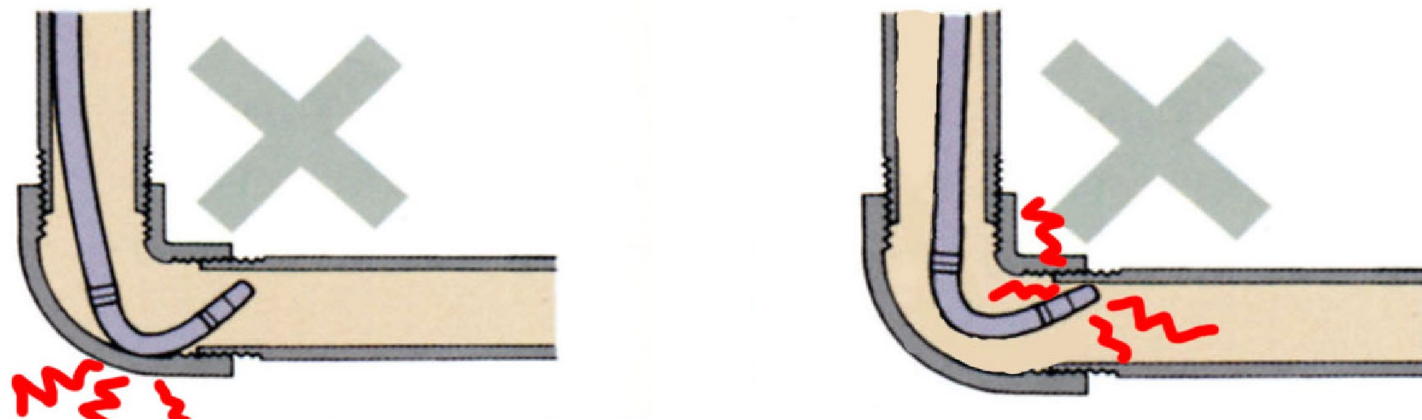
項目	仕様
アプリケーション	
画像処理	
ズーム	1倍、2倍の2段切替
明るさ調整機能	Gainボタンにて、Auto（8段階）/Manual（12段階）切り替え ブライトネス操作に連動してGainと露光時間切り替え
画像記録機能	
記録媒体	使用のタブレット内ストレージに記録
プリントスクリーン機能	画面に表示している日付、時刻、ロゴ、各種設定（照明、ブライトネス、ZOOM、GAIN）を画像に重畳して保存可能
静止画記録	解像度：500×500 記録方式：JPEG圧縮（Exif2 準拠）静止画ファイルサイズ：約1MB （1GBあたり約1000枚の静止画記録が可能）ファイルマーク機能に非対応です。
動画記録	解像度：392×392 フレームレート：30 fps 記録方式：H.264準拠 音声記録機能なし 動画ファイルサイズ：1ファイルで約2時間記録可能

挿入テクニック



観察しながら配管方向に湾曲。スコープを押し込んで、ツギテに先端を乗せます。

逆に湾曲をかけ、左右交互にすこずつ回転させながら押し込みます。



無理なスコープの押し込みや、湾曲したままの引き抜き、無理に湾曲させると故障の原因になりますのでご注意ください。